

取扱説明書

業務用油だき可搬形ヒーター・放射式直火形

オリオンジェットヒーター BRITE スーパースイング

HRS330



－ もくじ －

はじめにお読みください	2
安全のために必ずお守りください	3
本体警告ラベル貼付位置	10
各部のなまえ	11
使用前の準備と確認	12
使い方	14
点検・手入れのしかた	19
定期点検	22
保管のしかた	22
異常のとき	23
消耗部品	24
アクセサリ（別売品）	24
アフターサービス	26
廃棄について	26
仕様	27
点検・修理依頼シート	28
点検・修理依頼シート記入例	29



- この機械は物の加温、乾燥を目的とした「業務用」ヒーターです。
- 異常燃焼時等はすすなどが付着する可能性があるので汚れて問題（損害）になるものの乾燥には熱交換式ヒーターを推奨します。（P. 6 参照）
- 家庭用として使わないでください。
- 火力が強いため、火災、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- この取扱説明書をよく読んでヒーターを正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保管しておいてください。

巻末が保証書となっています。大切に保管してください。

危険



ガソリン厳禁

必ず灯油（JIS1号灯油）を使用

危険



使用中は必ず換気して
新鮮な空気を補給せよ

03108307010

はじめにお読みください

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
より安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みにになり、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、 危険  警告  注意に区分して表示してあります。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されるもの

また、 注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ・取扱説明書をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく使用者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■図記号について

	 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。
	 記号は、詳細・関連情報の参照先を示します。

■機構および仕様等は予告なく変更する場合があります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（危険）

この章に記載する事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための安全上の重要事項です。この製品を使用する前にお読みになり、必ずお守りください。

危険

	ガソリン厳禁 灯油（JIS1 号）を必ず使用してください。ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。 爆発、火災の原因になります。
	可燃性ガスおよび引火性液体厳禁 可燃性ガスを発生するもの（シンナー、ガソリン、LPG など）を使用しているところや置いてあるところでは、ヒーターを絶対に使用しないでください。 爆発、火災の原因になります。
	換気必要 使用中は 1 時間に 1～2 回必ず換気してください。換気せずに使用し続けると、酸素不足により不完全燃焼し、 一酸化炭素中毒の原因になります。 密閉された空間での使用厳禁 新鮮な空気が常に供給できるように、空気取入口や排気口を必ず設けてください。換気が十分行われない場所で使用し続けると、酸素不足により不完全燃焼し、 一酸化炭素中毒の原因になります。
	改造厳禁 改造は絶対にしないでください。製品故障の原因になるばかりでなく、 火災・やけど・不完全燃焼による中毒など、重大な事故の原因になります。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（警告）



警告



変質灯油、不純灯油使用厳禁

変質灯油や不純灯油は使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

スプレー缶厳禁

スプレー缶など密閉容器を暖めたり、熱風の当たるところに放置しないでください。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、爆発の原因になります。

可燃性粉塵厳禁

可燃性粉塵（木くず、紙くず、繊維くず、鉄粉など）が発生するところでは使用しないでください。ヒーターに吸い込まれると、加熱され火の粉になって噴き出され火災の原因になります。

水のかかるところ、湿気の多いところでの使用禁止

本製品は屋内仕様です。雨水、雪などのかかるところおよび湿気の多いところでは使用しないでください。また、濡れた手で操作しないでください。故障や感電、火災の原因になります。

空気取入口およびパネル本体をふさがない

空気取入口やパネル本体をふさがないでください。また、周囲のシート等が空気取入口に貼り付かないように注意してください。異常燃焼や火災の原因になります。

電源コードを破損させたり加工しない

電源コードに重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、はさみ込んだりまたは加工しないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

車両への据え付け、積載したままでの使用禁止

車両への据え付けや積載したまま使用しないでください。故障や火災の原因になります。



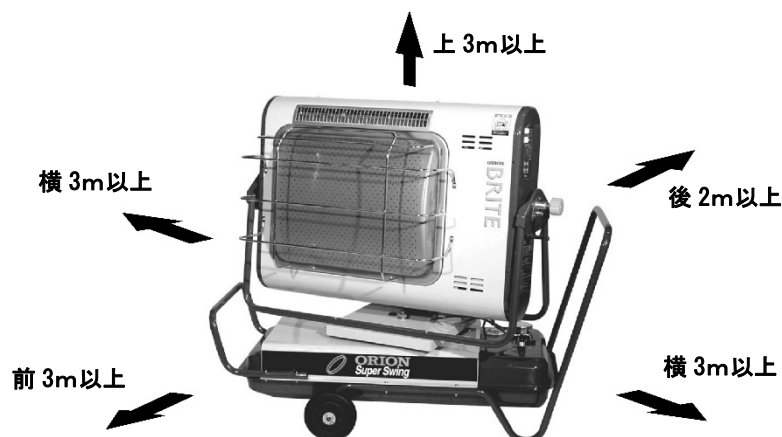
回転物に注意

運転中、内部のサーキュレータ、ブLOWERモータは高速で回転しています。バーナー点検蓋を絶対に開けないでください。ブLOWERモータに触れるとケガの原因になります。



周囲の可燃物に注意

ヒーター周囲の天井、壁面等の可燃物との距離は、下図の距離を確保してください。また、パネル本体の角度を調整する際には、床面の温度が高温にならないように注意してください。高温になるおそれがある場合は、収納カバー兼用ミラーシート（アクセサリ（別売品））を使用してください。火災の原因になります。



安全のために必ずお守りください

使用上の注意（警告）



警告



正常燃焼の確認

使用するたびに正常に燃焼していることを確認してください。（「点検・手入れのしかた」 19 ページ参照）炎の飛び出し、におい、すすの発生など異常を確認したときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま使用を継続すると、ヒーター本体の焼損や火災の原因になります。



点検、手入れ時、電源プラグを抜く

点検、手入れ時およびアクセサリー（別売品）の取り付けの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電やサーキュレータ、ブロワーモータによるケガの原因になります。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）



注意



使用上の注意をお守りいただけないと、下記のような事故につながるおそれがあります。

事件事例

●衣類にすすが付着

ヒーターを衣類の乾燥に使用中、異常燃焼が発生し、大量のすすが発生。衣類がすすまみれになり、廃棄せざるを得なくなった。

●高温環境での使用による焼損

使用温度条件（40℃）を超える環境でヒーターを使用した結果、過熱防止装置の配線が溶けて短絡。ヒーターの温度が上昇しても過熱防止機能が働かずヒーターが焼損した。

●可燃物の近くでの使用による火災

トラックの荷台でシンナー・ガソリンを積載し、ヒーターを使用。火がガソリン缶に燃え移り、トラックごと全焼した。

●密閉空間での使用による焼損

密閉された塗装乾燥炉内にヒーターを設置し、室内の加温に使用。換気不良によりヒーターが焼損した。

●熱風の逆流による故障と火災

乾燥室に金属ダクトでヒーターを直接接続。乾燥中の割り箸が発火し、工場が全焼した。

●不適切な設置による焼損

ヒーターの車輪を外し、純正ではないオイルレベラーを使用して塗料乾燥に使用。周囲に可燃物が置かれており、引火して工場が全焼した。

●熱風の逆流によるヒーターの焼損

ヒーターのパネル本体のすぐ近くで鋳物を乾燥。熱風がヒーター側に逆流し、ヒーターが焼損した。



振動の激しいところや水平でないところでの使用禁止

振動がなく水平な場所で使用してください。振動が激しい場所や水平でない場所で使用すると、ヒーターが移動したり転倒したりして、火災の原因になります。

通路や子供のいる場所での使用に注意

階段、避難口および部屋の出入口などでは使用しないでください。人がぶつかり、やけどなどの事故の原因になります。また、子供のいる場所では、ガードを設置したり管理者をおくなどして、特に安全管理に注意してください。

風に注意

風の強い場所では使用しないでください。可燃物がパネル本体付近に飛来すると、火災の原因になります。また、飛来物が空気取入口に貼り付くと、異常燃焼の原因になります。

磁気や高周波に注意

磁気や高周波の強い場所では使用しないでください。予期せぬ製品の誤動作等により火災等のおそれがあります。

腐食性ガスに注意

腐食性ガスの発生するところでは使用しないでください。製品の故障や漏電による、感電、火災の原因になります。

使用例	代表的な腐食性物質
塗装・メッキ工場	塩酸・硫酸・フッ酸・リン酸・クロム酸・ベンゼン・トルエン・キシレン
プール	塩素
畜産	アンモニア・次亜塩素酸ナトリウム・塩酸・赤リン

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）



注意



点火操作の繰り返し禁止

燃料切れ以外で点火操作を 3 回繰り返しても点火しない場合は、それ以上操作をしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。点火操作を 4 回以上繰り返して点火したときには、パネル本体より炎や煙が出ることがあります。また、火災の原因になります。

電源プラグでの消火禁止

電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。また、冷却運転中に電源プラグを抜かないでください。冷却が不完全となり、火災、やけど、焼損の原因になります。

運転中の移動禁止

運転中は移動しないでください。やけどのおそれがあります。転倒すると火災の原因になります。

プロテクタに物を掛けたり、載せたりしない

プロテクタに衣類などを掛けたり、やかん、なべなどを載せないでください。火災ややけどのおそれがあります。また、水がヒーター内部に入ると感電のおそれがあります。

灯油を入れたまま保管、廃棄しない

保管および廃棄するときは、必ず油タンクを空にしてください。温度変化で空気が結露して油タンク内に水がたまり、油タンク底に錆が発生します。油タンクの腐食による穴あきで、油タンク内の灯油が漏れて環境汚染や火災の原因になります。また、長期間保管した灯油は変質し、それを使用すると不完全燃焼の原因になります。

点火操作後のパネル本体接近禁止

点火操作後、パネル本体をのぞき込まないでください。やけどのおそれがあります。

標高の高いところでの使用禁止

標高 1000m 以下で使用してください。1000m を超える場所で使用すると、燃焼空気量不足により異常燃焼の原因になります。

首振り範囲内に物を置かない

首振り範囲内に物を置かないでください。ヒーターに接触して火災の原因になります。



やけどに注意

燃焼中や消火直後は、パネル本体、プロテクタなどは高温になっています。燃焼中および消火後 30 分間は手を触れないでください。また、プロテクタ、外筒、パネル本体を持って放射角度を変えないでください。やけどのおそれがあります。



首振り動作中はヒーターに手を触れない

首振り動作時はヒーターに触れないでください。指を挟みケガのおそれがあります。

電源に注意

電源電圧は AC100±10V の範囲内で使用してください。AC200V 電源には絶対に接続しないでください。パーナークントローラが故障します。また、タコ足配線はしないでください。故障や感電、火災の原因になります。

動物飼育施設での使用に注意

下記内容が想定されますので、特に注意して使用してください。

- ・ 敷きワラ、オガ粉等の可燃物は火災のおそれがありますので、特に注意してください。
- ・ 換気が不十分になると酸欠や一酸化炭素中毒により家畜が死亡するおそれがありますので、使用中は 1 時間に 1～2 回換気をしてください。
- ・ 安全装置の作動などによりヒーターが自動消火し家畜が凍死する場合も想定されますので、使用中は定期的に運転状態を確認してください。
- ・ 家畜がヒーターを倒したり壊す等して、火災の原因になったり、家畜が長時間温風にあたり低温やけどや脱水症状になるおそれがありますので、家畜がヒーターに近づきすぎないように、柵などの設備を設置してください。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）



周囲温度に注意

周囲温度は-20～40℃の範囲で使用してください。40℃を超える温度で使用するとヒーターが過熱して、**火災の原因**になります。

給油時消火

給油時は必ず消火し、ヒーターが十分に冷えてから行ってください。高温のとき（サーキュレータが自動停止する前）に給油すると**火災・やけどの原因**になります。

プロテクタを必ず取り付ける

プロテクタを必ず取り付けてください。やけど、**火災の原因**になります。

運転スイッチの切り忘れに注意

サーモスタット、タイマを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。（サーモスタット、タイマはアクセサリー（別売品））ヒーターを使用しないときは、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。**火災の原因**になります。

サーモスタット感温部設置場所に注意

サーモスタットを取り付けた場合、サーモスタットの温度感知部はヒーターの熱が直接当たる所に置かないでください。ひんぱんに ON（燃烧）／OFF（消火）を繰り返し、**故障の原因**になります。

ハンドルは確実に締め付ける

放射角度調整後は、ハンドルを確実に締め付けてください。締め付けが不十分な場合、運転中に放射角度が変わり**火災の原因**になります。

自動車運搬時に注意

自動車に積載して運搬するときは、灯油を抜き、転倒防止の処置を行ってください。転倒や振動により油タンク内の灯油が漏れると**火災の原因**になります。

点検時保護手袋着用

ヒーターの清掃や炎検出器の点検の際は、ケガの防止のため、軍手などの保護手袋を着用して作業してください。

燃烧状態は離れて確認する

燃烧状態の確認は、やけどなどの事故を防止するため、ヒーターから 3m 以上離れて行ってください。

コード類の挟み込みに注意

バーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟み込まないようにしてください。**感電のおそれがあります。**

床面、天井、壁面等の温度に注意

ヒーターを使用するときは、床面、天井、壁面等が高温にならないように放射角度を調整してください。万一、床面の温度が高温になるおそれがある場合は、収納カバー兼用ミラーシート（アクセサリー（別売品））を使用してください。**使用しないと火災の原因になります。**また、体育館等の床材が木製の場合、床面が高温となり変色、焦げの原因になります。必ずアクセサリー（別売品）の収納カバー兼用ミラーシートをお使いのうえ、放射角度を調整して床面が高温にならないようにしてください。

標高 500m 以上で使用する場合は注意

燃烧用空気量不足により、パネル本体から炎が連続的に飛び出したり、黒煙やすすが発生する**おそれがあります。**お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コードは先端のプラグを持って抜く

コードを持って抜くと、芯線の一部が断線して、**発熱・発火などの原因**になります。

安全のために必ずお守りください

使用上の注意（注意）

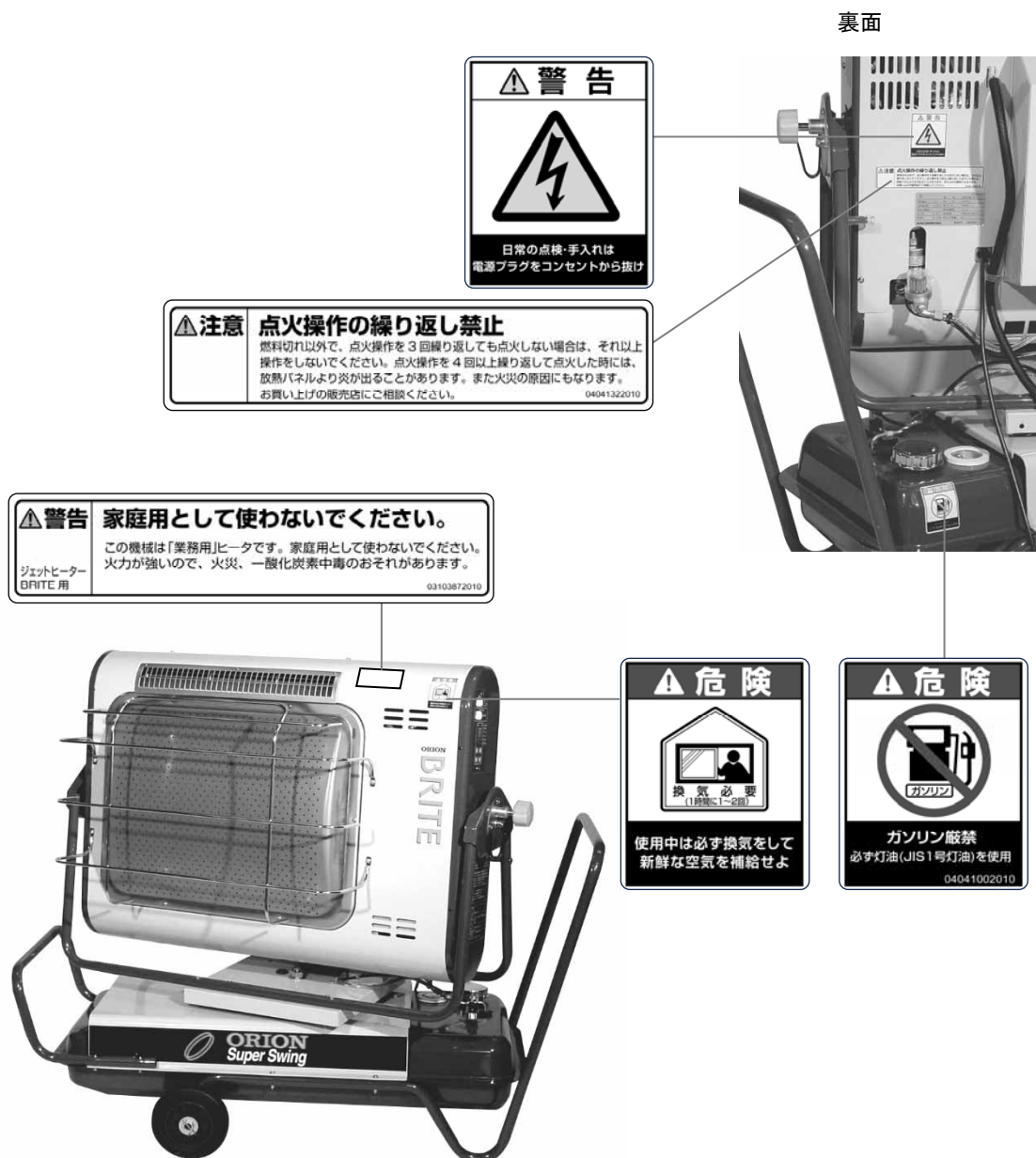


	消火の確認 消火をしたときは、火が完全に消えていることを確認してから離れてください。火がついたままだと、火災の原因になります。 持ち上げ移動する場合は二人作業で行う ヒーターを持ち上げて移動する場合は、灯油を抜き、タンク部の脚、把手を持ち、二人以上で行ってください。一人作業で行うとケガの原因になります。 延長コードは許容電流を確認し、正しく使用する 延長コードを使用する場合は、許容電流を確認してください。（「延長コードを使用する場合」☞18ページ参照）また、巻いたまま、束ねたまま使用しないでください。発火・発熱などの原因になります。
	使用時以外は電源プラグを抜く 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
	アースは必ず接地する ヒーターを使用するときはアースコードを必ず接地してください。（「点火のしかた」☞14ページ参照）感電の原因になります。

本体警告ラベル貼付位置

本体警告ラベル貼付位置

次の警告ラベルは、重要警告事項の中から特に重要なものとして厳選されておりヒーター本体に貼付されています。ご使用前に必ずお読みください。また、汚れ、傷などで見えにくくなった場合には、お買い上げの販売店に連絡し、新しいものに貼り替えてください。(有償扱いとなります)



各部のなまえ

外観

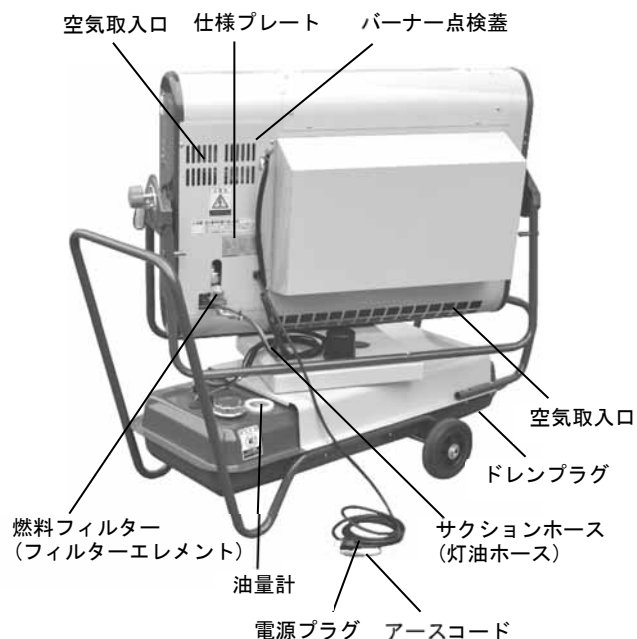
外観

■外観

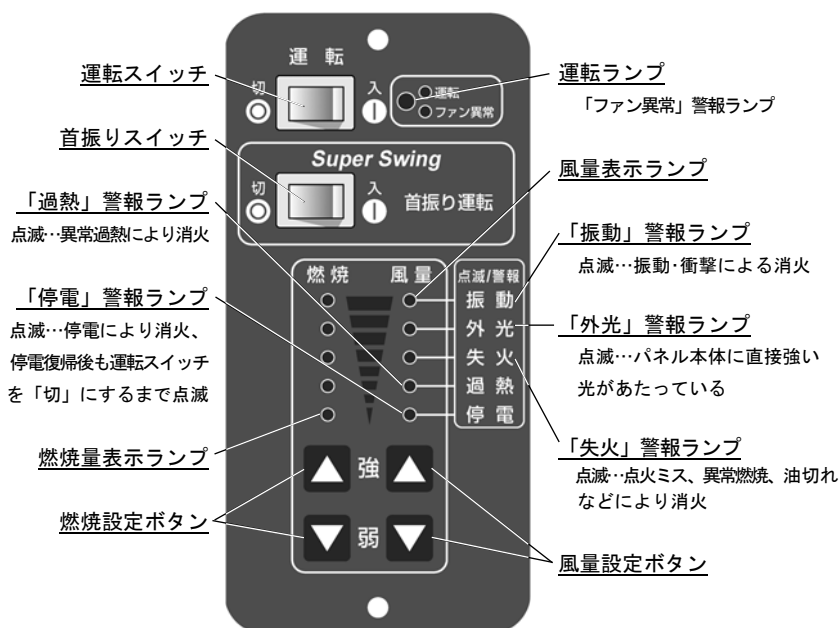
前面



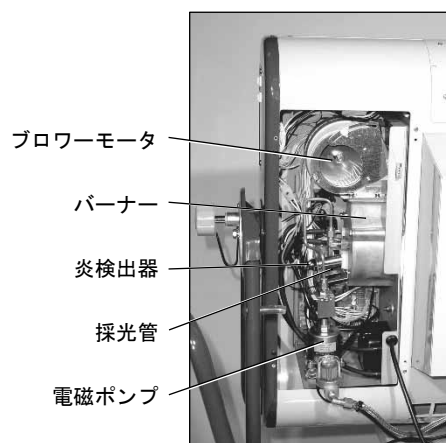
裏面



■スイッチパネル



■バーナー点検蓋を開けると



使用前の準備と確認

使用する場所／燃料

使用する場所

「安全のために必ずお守りください」をよくお読みになり、使用する場所には特に注意してください。

燃料

危険

- 灯油（JIS1 号）を必ず使用してください。ガソリンなどの揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。爆発、火災の原因になります。

警告

- 変質灯油や不純灯油は使用しないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

●使用燃料について

1. 燃料は JIS1 号灯油を使用する。
2. 変質灯油や不純灯油は使用しない。

●変質灯油とは

- ・古い灯油（昨シーズンより持ち越した灯油）
- ・日光の当たる場所で長期間保管したもの
- ・温度の高い場所で長期間保管したもの

●不純灯油とは

- ・灯油以外の油（ガソリン、シンナー、機械油、重油など）が混入したもの
- ・水やゴミが混入したもの

●変質灯油、不純灯油が入っているとき

- ・油タンク内の悪い灯油を抜き取り、良質の灯油と入れ替えてください。（「油タンクの掃除（水抜き）」 20 ページ参照）

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけ、息を吹きかけます。
（火の気のない所で行ってください。）

灯油



濡れたまま



ガソリン



すぐ乾いてしまう

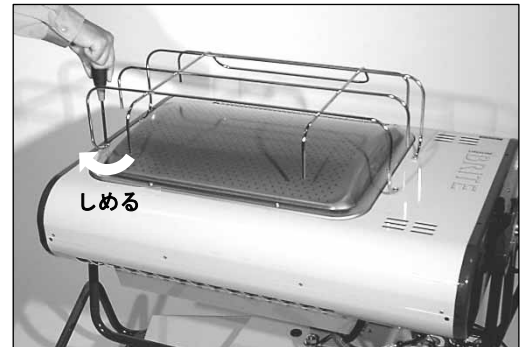


使用前の準備と確認

点火前の準備／給油のしかた

点火前の準備

1. 梱包箱からヒーターを取り出す。
ヒーター各部の梱包部材やチラシをすべて取り除く。
2. プロテクタを取り付ける。
(1) 外筒のネジ 4 本をドライバにて取り外す。
(2) 付属品のプロテクタを、取り外した 4 本のネジで取り付ける。
3. 据え付ける。
(1) 水平なところに置く。
(2) ヒーターの近くに燃えやすいものを置いていないか確認する。



重要事項

- パネル本体の変色は、工場での燃焼テストによるもので、異常ではありません。
- やけどや火災を防ぐためにプロテクタは必ず取り付けてください。
- チラシは特に重要な項目について説明しています。内容をご確認の上、取扱説明書と共に大切に保管してください。

給油のしかた



注意

- 給油時は必ず消火し、ヒーターが十分に冷えてから行ってください。高温のとき（サーキュレータが自動停止する前）に給油すると火災・やけどの原因になります。

1. オイルキャップを外す。
2. 油量計の目盛を確認しながら給油する。
 - ・ 給油口フィルターは外さずに給油してください。タンク内にゴミ等が入りますと送油回路の詰まりの原因になります。
 - ・ いきおいよく給油すると給油口から灯油があふれることがあります。給油はゆっくりと行ってください。
 - ・ 油量計の目盛は、「F」を超えて給油しないでください。灯油があふれます。
3. 給油が終わったらオイルキャップを確実に締め付ける。

使い方

点火のしかた

点火のしかた



注意

- 電源電圧は AC100±10V の範囲内で使用してください。AC200V 電源には絶対に接続しないでください。バーナーコントローラが故障します。また、タコ足配線はしないでください。故障や感電、火災の原因になります。
- アースコードは必ず接地して使用してください。感電の原因になります。
- 燃料切れ以外で点火操作を 3 回繰り返しても点火しない場合は、ヒーターの異常が考えられますので点火操作を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。点火操作を 4 回以上繰り返して点火したときには、パネル本体より炎が出て火災の原因になります。

1. 電源プラグを AC100V コンセントに差し込む。

- ・ 停電ランプが赤色に点滅した場合は、運転スイッチが「入」になっています。運転スイッチを「切」にした後、点火操作をしてください。
- ・ 警報ランプが点滅していないことを確認してください。

2. 電源プラグから出ているアースコードを接地してください。

3. 運転スイッチを「入」にする。

4. 約 10 秒後に点火します。

- ・ お買い上げ後初めての運転時や燃料切れした給油後の運転時は、運転スイッチ「入」後、電磁ポンプから「ガチャガチャ」と音がし、失火警報ランプが点滅します。この場合は、運転スイッチを「切」にし、点火操作を 2～3 回繰り返すと点火します。（油タンク内の灯油が少量で、ヒーターを運搬・移動した場合にも、同様な現象になる場合があります。）

重要事項

- 点火後、約 10 秒間は燃焼量の設定にかかわらず最大燃焼します。
- 点火後、約 1 分間は送風しません。
- 燃料切れによる消火時や、燃料切れした給油後の運転時には、パネル本体から炎が飛び出したり、油滴が飛び出す場合がありますので、注意してください。炎や油滴の飛び出しを防止するためには、燃料切れをおこす前に給油してください。

使い方

燃焼量調節のしかた／風量調節のしかた

燃焼量調節のしかた

燃焼量が5段階に変えられます。

■燃焼量を多くしたいとき

燃焼設定ボタン ▲ を押す。

表示ランプ（黄）の点灯数が増える。



■燃焼量を少なくしたいとき

燃焼設定ボタン ▼ を押す。

表示ランプ（黄）の点灯数が減る。



風量調節のしかた

サーキュレータの風量が5段階に変えられます。

■風量を多くしたいとき

風量設定ボタン ▲ を押す。

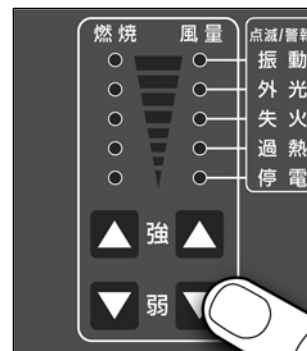
表示ランプ（赤）の点灯数が増える。



■風量を少なくしたいとき

風量設定ボタン ▼ を押す。

表示ランプ（赤）の点灯数が減る。



重要事項

- 点火後の約1分間は風量の設定はできませんが送風しません。
- 風量を変えても火力は変わりません。

使い方

消火のしかた／首振りのしかた

消火のしかた



注意

- 電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。また、冷却運転中に電源プラグを抜かないでください。冷却が不完全となり、火災、やけど、故障の原因になります。
- 消火直後は、パネル本体やプロテクタなどは高温になっています。消火後 30 分間は手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. 約 3 分間冷却運転を行った後、自動停止します。

首振りのしかた



注意

- 首振り範囲内に物を置かないでください。ヒーターに接触して火災の原因になります。また故障の原因になります。

■首振り運転をしたいとき

1. 電源プラグをコンセントに差し込む
2. 首振りスイッチを「入」にする
 - ・首振りはヒーターの運転中および消火中のどちらでも行うことができます。



■首振り運転をやめるとき

1. 首振りスイッチを「切」にする
 - ・停電復帰時、首振りスイッチが「入」にしてあると首振り運転を継続します。



重要事項

- 首振りスイッチを「切」にしても運転スイッチが「入」になっていると、ヒーターは消火しません。ヒーターを消火するときは、運転スイッチを「切」にしてください。
- 首振りスイッチを「入」にしてあると、サーモスタット・タイマ（アクセサリ（別売品））の設定に関係なく首振り運転します。
- 手で首の向きを変えないでください。首振り用モータが故障する原因になります。

使い方

放射角度の調整のしかた

放射角度の調整のしかた



警告

- ヒーター周囲の天井、壁面等の可燃物との距離は、3m 以上距離を確保してください。火災の原因になります。（「周囲の可燃物に注意」▶4 ページ参照）



注意

- プロテクタ、外筒、パネル本体を持って角度を変えないでください。やけどのおそれがあります。
- 放射角度調整は、ハンドルを確実に締め付けてください。締め付けが不十分な場合、運転中に角度が変わり、火災のおそれがあります。
- 体育館等の床材が木製の場合、床面が高温となり変色、焦げの原因になります。必ずアクセサリ（別売品）の収納カバー兼用ミラーシートをお使いのうえ、放射角度を調整して床面が高温にならないようにしてください。

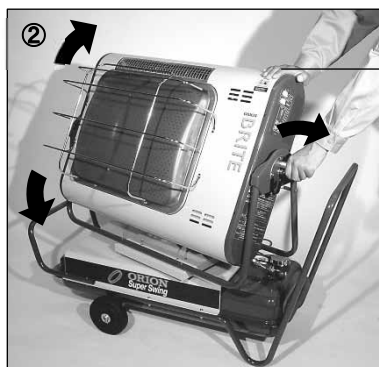
1. ハンドルをゆるめる



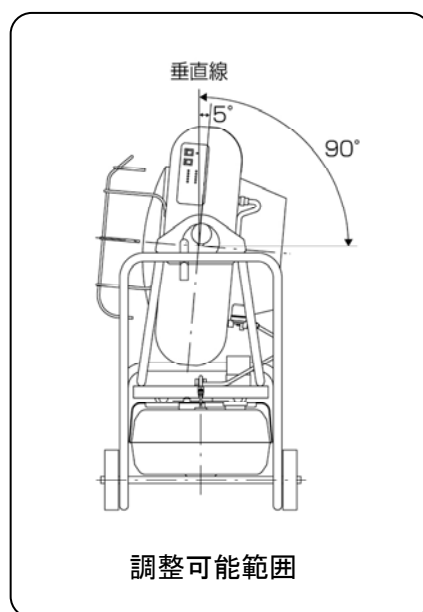
ハンドル

2. 角度を変える

- ・放射角度を調整してください。



スイッチパネルの
上部に手をかける



3. ハンドルを固定する

- ・ハンドルを締め付け固定してください。

使い方

移動のしかた／延長コードを使用する場合

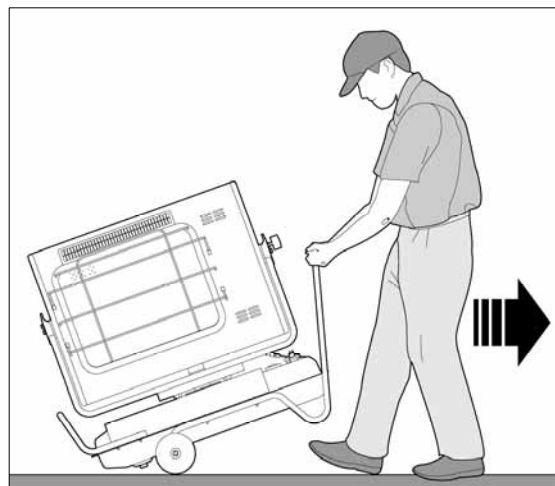
移動のしかた



注意

- 火をつけたままヒーターを移動しないでください。やけどのおそれがあります。転倒すると火災の原因になります。

1. 図のように把手を持ち脚を浮かせ、移動方向へ移動してください。



延長コードを使用する場合



注意

- 延長コードを使用する場合は許容電流を確認してください。また、巻いたまま、束ねたまま使用しないでください。発火、発熱などの原因になります。

1. 延長コードを使用する場合は、次の表を目安にしてください。

延長コードの長さ	30m	60m	90m	120m
コードの公称断面積	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²	8mm ²

点検・手入れのしかた

使うたびに／1ヶ月に1回以上



警告

- 運転状態の確認、対震自動消火装置の作動確認を除き、点検、手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電やサーキュレータによるケガの原因になります。
- 異常を確認したときは、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま使用を継続すると、ヒーター本体の焼損や火災の原因になります。



注意

- 消火直後は、パネル本体やプロテクタなどは高温になっています。消火後 30 分間は手を触れないでください。やけどのおそれがあります。

使うたびに

1. 運転前の確認

- ・ ヒーター周囲の可燃物との距離は確保されているか。また、スプレー缶などが無いか必ず確認してください。
- ・ ヒーター本体や、油タンクに油漏れや油漏れの形跡が無いか確認してください。
- ・ 外筒の塗装に変色（焼け）が無いか確認してください。変色があるとヒーター内部に異常があるおそれがあります。

2. 燃焼状態の確認

燃焼中に次の異常が無いか確認してください。

- ・ 臭いがする。
- ・ パネル本体からひんぱんに炎が飛び出す。
- ・ パネル本体から時々すすが出る。
- ・ パネル本体から時々油滴が飛び出す。
- ・ パネル本体から油ダレしたり、床に油が垂れたしみがある。
- ・ 炎が大きくなったり、小さくなったりする。または消火・着火を繰り返す。
- ・ 異常音や異常振動する。

重要事項

- 燃焼状態の確認は、やけどなどの事故を防止するため、ヒーターから 3m 以上離れて行ってください。
- 異常燃焼や油ダレがある場合は、電源プラグを抜かないでください。運転スイッチを切り約 3 分間の冷却運転が終わってから電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いて消火すると、ファンによる冷却運転ができないためヒーター内部が高温になり、内部の垂れた灯油に引火し、ヒーター本体の焼損や火災のおそれがあります。

1ヶ月に1回以上

1. フィルターエレメントの点検

- ・ フィルターケース内のエレメントを確認し、汚れているときは、フィルターエレメントの掃除をしてください。
- ・ 汚れが著しいときは、新品のフィルターエレメントと交換してください。（フィルターエレメントのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください）

■ フィルターエレメントの掃除のしかた

- (1) フィルターケースを外し、フィルターエレメントを抜き、灯油で洗う。
- (2) 元通りに組み立てる。



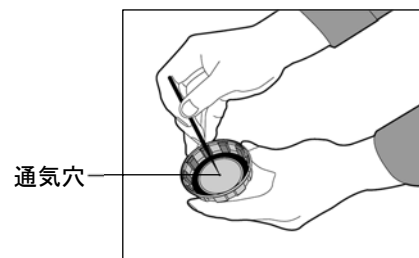
フィルターケース
(フィルターエレメント)

点検・手入れのしかた

1 ヶ月に 1 回以上／1 シーズンに 2～3 回

2. オイルキャップ通気穴の点検

- ・オイルキャップを外し、通気穴が詰まっていないか確認してください。
- ・詰まっているときは、針金などでゴミを取り除いてください。



1 シーズンに 2～3 回

1. 油タンクの掃除（水抜き）

- ・ヒーター保管時は必ず油タンクの掃除を行ってください。
- ・また、フィルターケース内に水が溜まっていたり、フィルターエレメントにゴミの付着が多い場合も同様に掃除を行ってください。

■油タンクの掃除（水抜き）のしかた

- (1) 油タンク内の灯油を、給油ポンプで抜く。
- (2) 油タンクのドレンプラグの下に油受けを置く。
- (3) ドレンプラグを外し、残った灯油をゴミや水とともに抜く。
- (4) ドレンパッキンが破損していないことを確認して、ドレンプラグと一緒に確実に締め付ける。



2. 対震自動消火装置の作動確認

- ・燃焼中にヒーターをゆすって消火することを確認してください。

3. 燃焼状態の点検（炎の飛出し、すすの発生等）

- ・粉塵等が多い使用環境によってはブロワーモータに汚れが付着し、炎の飛出し、すすの発生等の不完全燃焼になります。燃焼状態の確認（☞19 ページ参照）を行い、異常の場合は販売店へ点検の依頼をしてください。

4. 炎検出器の掃除

- ・次ページ（☞21 ページ）の手順を参照し、炎検出器の掃除を行ってください。

5. 電源プラグの点検

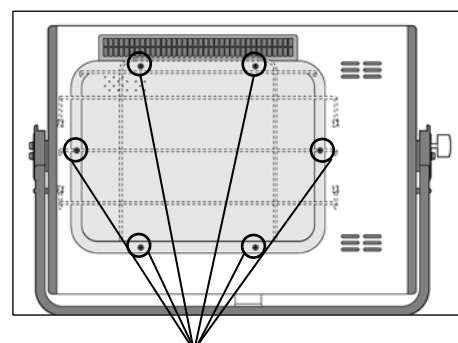
- ・電源プラグにほこりが付着していないか点検します。
- ・電源プラグをコンセントから抜き、ほこりを取り除いて使用してください。

6. パネル本体固定ネジの点検

- ・パネル本体の固定ネジがひどく緩んでいないことを確認してください。

■パネル本体固定ネジの点検のしかた

- (1) 消火後 30 分以上経過していることを確認する。
- (2) パネル本体周囲の固定ネジ 6 本をドライバにて締める。



固定ネジ 6 本

点検・手入れのしかた

炎検出器の掃除のしかた

炎検出器の掃除のしかた



警告

- 電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電のおそれがあります。

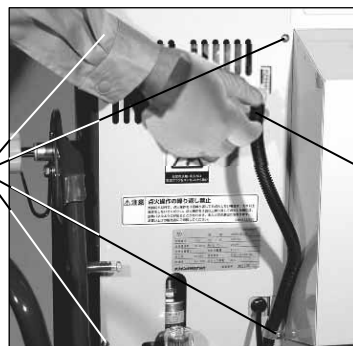


注意

- ケガ防止のため、軍手などの保護手袋を着用して作業してください。
- バーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟み込まないようにしてください。感電のおそれがあります。

1. 首振り用モータ配線コネクタを外し、バーナー点検蓋を固定している4本のネジをドライバにて取り外し、バーナー点検蓋を外す。

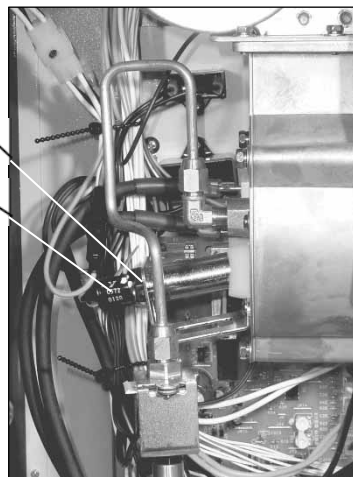
ネジ (4カ所)



首振り用
モータ配線
コネクタ

2. 炎検出器を採光管より抜く。

採光管
炎検出器



3. 炎検出器の受光面のすす、ほこり等を取り除く。柔らかい布または綿棒等で受光面についているすす、ほこり等を取る。
※炎検出器が入っている採光管先端部の穴が、ほこりで詰まっているときは、掃除してください。
4. 炎検出器を元通りに差し込む。このとき、炎検出器の凸部と採光管の凹部を合わせる。
5. バーナー点検蓋を取り付ける。



定期点検

長時間ご使用になりますと機器の点検が必要です。点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。未然に事故を防止するため定期点検を依頼してください。（有償となります）

■実施時期

2 シーズンに1 回程度シーズン初めやシーズン終了時に定期点検を依頼してください。特に、使用時間が長い場合やほこりの多いところ、湿度の高いところなどでご使用の場合は、1 シーズンごとの点検が必要となりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ご依頼先

お買い上げの販売店

■定期点検の内容

1. 設置状態の点検・確認
2. 安全装置および運転状態の点検・確認
3. 環境や使用時間により劣化しやすい部品の点検・確認など
4. 製品の清掃・整備

■定期点検費用

定期点検の費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。定期点検の結果、部品交換および修理等が必要な場合は、処置内容および費用についてお客さまにご相談申し上げます。

保管のしかた



注意

●灯油を入れたまま保管しないでください。温度変化で空気が結露して油タンク内に水がたまり油タンク底に錆が発生します。油タンクの腐食による穴あきで、油タンク内の灯油が漏れて環境汚染や火災の原因になります。また、長期間灯油を保管すると変質し、それを使用すると不完全燃焼の原因になります。

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 油タンク内の灯油を抜く。
 - ・「油タンクの掃除（水抜き）」（☞20 ページ参照）に従って灯油を抜いてください。灯油を抜かないと、溜まった水により油タンクが錆びて穴あきの原因になります。
3. ヒーター本体のほこりや汚れを取り除く。
4. シート等をかけて湿気の少ない屋内で保管する。
 - ・雨水がかかったり、湿気の多いところには保管しないでください。

異常のとき

故障・異常早見表／安全装置一覧表



警告

- 次の表に従って確認や処置を実施しても改善しない場合や、原因が不明な場合は、ヒーターの使用をやめ、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま使用をすると、火災などの原因になります。
- 再点火操作は繰り返し4回以上行わないでください。異常のまま使用すると火災などの原因になります。
- 確認や処置の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電やサーキュレータによるケガの原因になります。

故障・異常早見表

現象	原因	処置のしかた
安全装置が作動した 停電ランプが赤の点滅	・ 停電があった。 ・ 運転スイッチ「入」で電源プラグをコンセントに差し込んだ。	・ スイッチを「切」にしリセットする。
ファン異常警報ランプが点滅	・ ブロワーモータの故障。	・ 使用をやめ、販売店に連絡する。
過熱警報ランプが点滅	・ パネル本体がふさがっている。 ・ 空気取入口にシート等が貼りついた。 ・ 電源電圧が低い。	・ 左記の原因を取り除き、本機が冷却するまで、運転をやめる。
失火警報ランプが点滅	・ 燃料切れで消火した。 ・ 炎検出器の受光面が汚れている。 ・ 燃料の不良（変質灯油、水の混入等）。 ・ フィルターエレメントの詰まり。 ・ オイルキャップの通気穴の詰まり。	・ 油量計を確認し、給油する。 ・ 炎検出器を掃除する。（☞P21 参照） ・ 油タンクを掃除する。（☞P20 参照） ・ フィルターエレメントを掃除する。（☞P19 参照） ・ 通気穴を掃除する。（☞P20 参照）
外光警報ランプが点滅	・ パネル本体に太陽光が差し込んでいる。	・ ヒーターの向きを変える。
振動警報ランプが点滅	・ ヒーターが傾いている。 ・ 強い地震や振動、衝撃が加わった。	・ 振動の無い、水平な場所で使用する。
警報は出ないが燃焼状態が異常（炎の連続的な飛び出し、臭いがする、煙が出たり油ダレする 等）	・ 燃料の不良（変質灯油、水の混入等）。 ・ フィルターエレメントの詰まり。 ・ ブロワーモータが汚れている。 ・ オイルキャップの通気穴の詰まり。	・ 失火警報ランプが点滅時の処置を参考に確認する。原因が不明の場合は、使用をやめ、販売店に連絡する。
運転スイッチを「入」にしても運転しない（運転ランプも点灯しない）	・ 過負荷保護装置（ヒューズ）が作動。	・ 販売店に連絡する。

安全装置一覧表

装置のなまえ	はたらき	表示ランプ
対震自動消火装置	強い地震や衝撃を受けたときに自動消火します。	振動ランプ点滅
点火安全装置	点火ミスや燃料切れ、異常燃焼のときに自動消火します。	失火ランプ点滅
停電安全装置	停電後に復電しても、運転開始することを防止します。	停電ランプ点滅
過熱防止装置	ヒーター内部が異常過熱したときに自動消火します。	過熱ランプ点滅
過負荷保護装置（ヒューズ）	過電流が流れたときに電気回路をしゃ断し、運転停止します。	消灯
ファン回転異常停止装置	ブロワーモータの回転数が異常になったとき自動消火します。	運転ランプ「赤」の点滅

※安全装置作動時は、「故障・異常早見表」（上図参照）に従って、確認および処置をしてください。

消耗部品

定期交換部品／点検交換部品

定期交換部品（指定された時期に定期的に交換する部品）

No.	部品番号	部品名称	員数／台	交換時期
1	80000022560	フィルターエレメント	1	1 シーズンごと
2	04111906030	ノズル組立	1	3 シーズンごと

※交換時期は、一般的な使用条件における予防保全（使用中の故障を未然に防止するために計画的に行う部品交換等）としての目安です。

※交換時期は保証期間ではありません。また、製品の使用環境、運転条件等により、交換時期前に交換が必要となる場合があります。

※ノズルの交換は、専門技術を要しますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

点検交換部品（点検時の消耗、劣化状態に応じて交換する部品）

No.	部品番号	部品名称	員数／台	点検時期	交換判定基準
1	04041081010	点火棒	2	1 シーズンごと	消耗・変形の有無
2	02034704010	パネル本体	1	1 シーズンごと	破損・変形の有無
3	03A30382030	サクションホース	1	1 シーズンごと	表面亀裂の有無
4	0A001234010	ブロワーモータ	1	1 シーズンごと	異音の有無・回転の状態
5	0A002178000	ファンモータ（サーキュレータ用）	1	1 シーズンごと	異音の有無・回転の状態
6	04106037010	ギヤモータ配線組立	1	1 シーズンごと	異音の有無・回転の状態 破損・変形の有無
7	03038258010	給油口フィルター組立	1	1 シーズンごと	破損の有無
8	03041199010	オイルキャップ組立	1	1 シーズンごと	破損の有無
9	0A000047010	電磁ポンプ	1	1 シーズンごと	異音の有無・油量の減少

※上記部品（No.1、4、5、6、9）の交換は、専門技術を要しますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

アクセサリ（別売品）

アクセサリ（別売品）についてのご相談は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

1. アクセサリ（別売品）リスト

No.	部品番号	部品名称	員数／台	仕様
1	03113301020	サーモスタット（高温用）（※1）	1	20℃～110℃、単品使用時
2	03113301010		1	20℃～110℃、タイマ同時使用時
3	03107226010	サーモスタット（低温用）	1	10℃～30℃
4	03107226020	サーモスタット（低温用）	1	0℃～20℃
5	03037841010	タイマ	1	
6	03007023010	オイルレベラー	1	
7	03044312010	収納カバー兼用ミラーシート	1	床面過熱防止用 1600×950 mm
8	02035491010	ガードフェンス	1	幅 1300×高さ 900×奥行 850 mm

※必ず純正部品を使用してください。使用の際は、部品に付属の取扱説明書を読んで使用してください。

※1. サーモスタット（高温用）のみを使用する場合は No. 1（03113301020）を選んでください。

サーモスタット（高温用）とタイマを同時に使用する場合は No. 2（03113301010）を選んでください。

アクセサリ（別売品）



警告

- 電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。感電やサーキュレータによるケガの原因になります。



注意

- バーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟み込まないようにしてください。感電のおそれがあります。サーモスタットまたはタイマを取り付けて運転するときは必ず純正部品を使用し、付属している取扱説明書をよく読んで次のように接続してください。

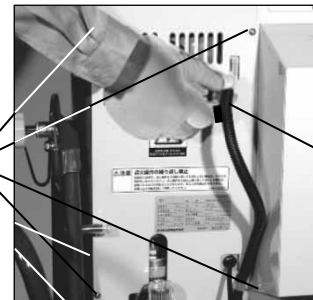
2. サーモスタット・タイマの接続のしかた

サーモスタットまたはタイマを取り付けて運転するときは必ず純正部品を使用し、付属している取扱説明書をよく読んで次のように接続してください。

(1) バーナー点検蓋を外す。

首振り用モータ配線コネクタを外し、バーナー点検蓋を固定している 4 本のネジをドライバにて取りはずし、バーナー点検蓋を外す。

ネジ
(4ヶ所)



首振り用
モータ配線
コネクタ

(2) 短絡コードを外す。

バーナーコントローラの“タイマ”端子台に接続されている短絡コードを取り外す。



短絡
コード

バーナー
コントローラ

(3) タイマまたは、サーモスタットのコネクタを取り付ける。

純正部品に付属している接続コードのコネクタをバーナーコントローラの“タイマ”端子台へ差し込む。



タイマ
端子台

(4) バーナー点検蓋を取り付ける。

接続コードは、感震器接続コードと一緒にバーナー点検蓋の切り欠部より出す。

※運転のしかたは、純正部品に付属している取扱説明書をお読みください。

アフターサービス

■保証について

- ・巻末が保証書となっています。大切に保管してください。
- ・保証期間中でも消耗部品等は有償となる場合があります。保証書をよくお読みください。
- ・保証期間経過後は有償修理となります。修理箇所および修理内容や経過年数によっては新規購入をお奨めする場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

■点検・修理を依頼される前に

- ・「異常のとき」(☞23 ページ参照)に従い確認、処置をしてください。
- ・その上で改善しない場合、またはご不明な点がある場合は、ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

■補修用性能部品について

- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後7年です。

■アフターサービスの依頼

- ・点検、修理をお申しつけのときは、巻末の「点検・修理依頼シート」にご記入いただき、販売店にお渡しください。

■部品のお申し込みをされるときは、次の事項をお知らせください。

- ・製品名 ・形式名 ・部品の名称、部品番号、個数

廃棄について

製品を廃棄するときは、油タンク内の灯油を抜いた後、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理をしてください。

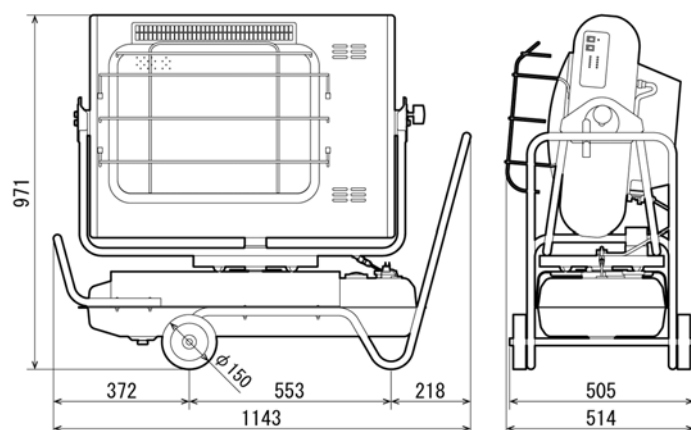
仕様

HRS330

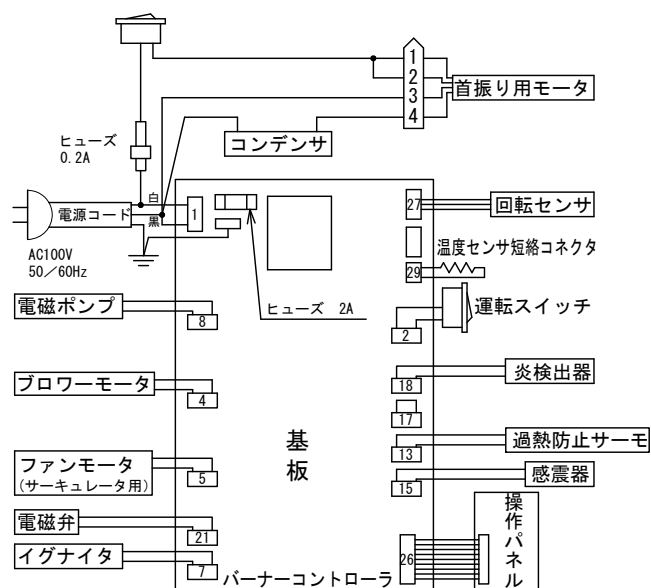
仕様表

種類	放射式直火形
形式	HRS330
定格電圧および周波数	単相 100V 50/60Hz
定格消費電力 (50/60Hz)	点火時 69/71W、燃焼時 95/115W (最大燃焼・最大風量時)
熱出力	最大 38.8kW～最小 28.1kW
燃料消費量	最大 4.0L/h～最小 2.9L/h
サーキュレータ風量 (ファンモータ)	7.6m ³ /min
使用燃料	JIS 1 号灯油
運転音 (50/60Hz)	62/62dB (最大燃焼・最大風量時)
油タンク容量	40L
燃焼持続時間	最大燃焼時 10 時間、最小燃焼時 13 時間
製品質量 (油タンク空時)	57kg
角度可変	上 : 5～90 度 (手動設定)、左右 : 30 度 (自動首振り)
使用温度範囲	-20℃～40℃
燃焼方式	高圧噴霧式
電源コード長さ	2.5m
安全装置	対震自動消火装置 点火安全装置 停電安全装置 過熱防止装置 過負荷保護装置 (ヒューズ) ファン回転異常停止装置
ヒューズ	ガラス管 (φ5.2×20 mm、125V・2A)
周波数切替	不要
外形寸法	高さ 971 mm×幅 1143 mm×奥行 514 mm

外形寸法図 単位 (mm)



配線図



点検・修理依頼シート

*ご記入日 年 月 日

※*が付いた項目は必ずご記入をお願いします。

* 事前見積り要否		☐ 必要	☐ 不要
* 希望修理依頼 ※希望日時は可能な限り調整いたしますが、お約束はしかねますのでご承知おきください。		☐ 出張修理	☐ 引取修理
		☐ 持込修理	☐ 送付修理
		☐ いつでも良い	☐ 最短訪問希望
		☐ 土日 祭日指定	
		☐ 指定日・指定時間あり	(具体的にご記入ください) 月 日 AM・PM 時 分～ 時 分
お客様情報 ※使用者様の情報を記載願います	* 会社名	フリガナ	
	* 部署名	* お名前	フリガナ
	* 電話番号	FAX	
	携帯番号	* E-mail	
	* ご住所	〒 ー 都・道府・県 郡・区・市	
ご記入者情報 ※お客様情報と同じ場合は記入不要	* 会社名	* お名前	
	部署名	ご住所	
	* 電話番号	携帯番号	
購入先販売店情報	* 会社名	* ご担当者氏名	
	部署名	* 電話番号	
	E-mail	納入ルート	
ご依頼製品情報	* MODEL(型式)	* SERIAL No. (製造番号)	
	* LIST No. 仕様書 No.	納入日	年 月 日 (使用期間 年 月 日)
	* ご依頼内容 (不具合情報)	*不具合発生日時 月 日 時 分 *エラー番号が出ている場合は必ずご記入ください。	
	その他 特記事項		
	* 設置状況	☐ 屋内 ☐ 屋上 ☐ 設置場所階数 階 ☐ 階段移動 ☐ エレベータ使用可 ☐ 屋外 ☐ 屋根有り ☐ 高所 クリーンルーム内/クリーンスーツ借用 ☐ 可 ☐ 否 ☐ 原発施設である ☐ 給水設備有り ☐ 排水設備有り ☐ 単独ブレーカ ☐ 集合ブレーカ 製品の前後左右に人が入るスペースがあるか具体的に記入ください	
出張修理 入門条件 ※出張修理または引取修理以外は記入不要	* 事前提出書類	☐ 有 ☐ 無	必要枚数：() 枚程度 連絡事項
	* 安全講習	☐ 必要 ☐ 不要	必要な資格があれば記入
	※入場の際に講習受講が必要な場合、有償での対応とさせていただきます	☐ 別日程	講習の具体的な内容をご記入ください(開催日・時間など)
	☐ 当日受講	講習時間 時間 分	持ち物
	* 持ち物 ※必要物に○	ヘルメット・帽子・安全帯・脚絆・安全靴・保護メガネ・耳栓・内履き・クリーンスーツ・防塵マスク・防毒マスク その他 ()	
立会者	☐ 有 ☐ 無	会社名 氏名	
* 工事写真 ※有償となる場合があります	☐ 必要 ☐ 不要	書式指定 ☐ 有 ☐ 無	※お客様指定の場合、作業前に指定書式をご提供ください

【注意事項】

1. お願い

- 記載内容が不十分の場合、修理をお請け出来ない場合がございます。必須項目について、記入漏れ無きようお願い致します。
- 修理のご依頼はご購入先販売店にご連絡をお願い致します。ご連絡時に必ず本紙もお渡しください。
- 引取修理の場合、引取・納品にともなう費用をご請求いたします。納品時は運送便にて返却となる場合もございます。
- 持込修理の場合、事前に持ち込み日時のご連絡をお願い致します。納品時はお引き取りをお願い致します。
- 修理品をお送りいただく際の運送費用はお客様の負担をお願い致します。
- お見積り後、回答いただくまでのお預かり期間は1週間を目安とさせていただきます。尚、お預かり期間が2週間を経過した場合は、製品発送先へご返却をさせていただきます場合がございます。合わせて診断費、運送費のご請求をさせていただきます。
- お客様設備(電源、給水回路、圧縮空気回路等)の操作は、お客様にてお願い致します。例：電源ブレーキ操作、圧縮空気回路のバルブ操作等。
- 点検後、修理不可、製品更新となった場合でも点検費はお客様ご負担とさせていただきます。
- 訪問日程ご相談の際、直接連絡(オリオン機械やお客様)をさせていただきます場合がございます。予めご了承ください。
- 産業廃棄物処理法に基づき、交換部品はお客様にて適切な処分をお願い致します。交換部品の引取りは致しかねます。

- 事前提出書類がある場合は、メールまたは郵送にて提出期限に余裕をもってご連絡をお願い致します。
- 工事写真が必要な場合、有償となる場合がございます。

2. メンテナンススペース・設置環境について

- メンテナンススペースが無い場合、安全作業ができないと判断した設置状況においては作業をお断りさせていただきます場合がございます。
- 屋外設置の場合、天候により作業を中止または延期させていただく場合がございます。

3. ご注意

- 製品が改造されている場合、修理をお請け出来ない場合がございます。
- 製品をお客様にて分解された場合は修理をお請け出来ない場合がございます。
- 販売から長期間経過している製品や、部品供給終了の製品は修理が出来ない場合がございます。

購入先がご不明なお客様
QRコードから記載内容をご確認の上、
本紙を記入して下さい。



点検・修理依頼シート記入例

仕様プレート 仕様プレートはキャビネットに貼り付けてあります。正確に記入をお願いします

チラー/エアードライヤー/精密空調機など

真空ポンプ

ジェットヒーターなど

ORION	
MODEL	SERIAL No.
CAPACITY	SOURCE
MASS	FREQ.
DEFROST	INPUT
LIST No.	CURRENT
ORION MACHINERY CO. LTD.	
04106911010	

ORION INVERTER OIL FREE PUMP	
Model	KCE190F-V-01
Ser. No.	※※※※※※※※※※
Pumping Capacity	192m ³ /h
Mass	345kg
Source	3ph 200V 50/60Hz・220V 60Hz
Current	13.8A
ORION MACHINERY CO. LTD. 246 KOTAKA, SUZAKA-SHI, NAGANO-KEN 362-8502 JAPAN MADE IN JAPAN	

04041974010			
定格電圧	100V	形 式	HR3330
定格周波数	50/60Hz	熱 出 力	38.8 kW
定格消費電力		燃料消費量	4.0 L/h
点火時	65/71W	使用燃料	灯油(JIS1号灯油)
燃焼時	95/115W	油タンク容量	40 L
オリオン機械株式会社		製造番号	

点検・修理依頼シート

*ご記入日 年 月 日

※*が付いた項目は必ずご記入をお願いします。

指定日は具体的にご記入ください。書き入れない場合は「その他特記事項」に記入ください

購入先が分からない場合は修理に時間が掛かる場合があります。また出来ない場合があります。

不具合内容について出来るだけ詳しくご記入ください。不具合内容によっては修理作業時に複数名の作業が必要となる場合や作業が困難な場合があります。また復旧までに数日かかる場合もあります

機器の設置環境によって複数の作業員が必要となる場合や修理が出来ない場合があります。原子力施設の場合は修理をお受けすることができません。

入門条件は日程調整や訪問時スムーズな対応が出来ずお客様にご迷惑をお掛けしない為にも必ずご記入ください。

*事前見積り要否	☒ 必要	☐ 不要
*希望修理依頼	☒ 出張修理	☐ 引取修理
	☐ いつでも良い	☒ 最短訪問希望
	☐ 指定日・指定時間あり	☐ 土日 祭日指定
(具体的に記入ください) 〇〇月××日 (AM)PM〇〇時××分～ 時 分		
*会社名	フリガナ ○○○○カブシキガイシャ ○○○○株式会社	
*部署名	設備課	*お名前
*電話番号	03-1234-XXXX	FAX
携帯番号	03-1234-XXXX	*E-mail
*ご住所	〒123-0000 東京 都 千代田 都 区 市 ○○町 ×-×-×	
*会社名	株式会社○○○○	*お名前
*部署名		ご住所
*電話番号		携帯番号
*会社名		*ご担当者氏名
*部署名		*電話番号
E-mail		納入ルート
*MODEL(型式)		*SERIAL No. (製造番号)
*LIST No. 仕様書 No.		納入日
*ご依頼内容 (不具合情報)	年 月 日 (使用期間) 年 月 日	
*その他特記事項		
*設置状況	☐ 屋内 ☒ 屋上 ☐ 設置場所階数 階 ☒ 階段移動 ☐ エレベータ使用可 ☐ 屋外 ☐ 屋根有り ☐ 高所 ☐ クリーンルーム内/クリーンスーツ着用 ☐ 可 ☐ 否 ☐ 原発施設である ☐ 給水設備有り ☐ 排水設備有り ☒ 単独ブレーカ ☐ 集合ブレーカ 製品の前後左右に入力するスペースがあるかを具体的に記入してください	
*事前提出書類	☐ 有 ☒ 無 必要枚数: () 枚程度 連絡事項	
*安全講習	☒ 必要 ☐ 不要 必要な資格があれば記入	
*出張修理入門条件	☐ 別日程 講習の具体的な内容をご記入ください (開催日・時間など) ☒ 当日受講 講習時間 時間 分 持ち物	
*持ち物	ヘルメット・帽子・安全帯・脚絆・安全靴・保護メガネ・耳栓・内服薬・クリーンスーツ・防護マスク・防護マスク その他 ()	
*立会者	☐ 有 ☒ 無 会社名 氏名	
*工事写真	☐ 必要 ☒ 不要 書式指定 ☐ 有 ☐ 無 ※お客様指定の場合、作業前に指定書式をご提供ください	

【注意事項】

1. お断り
 - (1) 記載内容が不十分の場合、修理をお受け出来ない場合がございます。必須項目について、記入漏れ等をお断り致します。
 - (2) 修理の依頼はご購入先宛に必ずご連絡をお願いします。ご連絡時に必ず本紙もお送りください。
 - (3) 引取修理の場合、引取・搬入にも必ず費用がかかります。断り時は必ず断り状に宛先と宛先を明記してください。
 - (4) 持ち物の場合は、事前に持ち込み日時のご連絡をお願いします。納品はお引き取りをお願いします。
 - (5) 修理品をお送りいただく場合は送料はお客様のご負担をお願い致します。
 - (6) お見積り後、回答いただくまでのお持ち期間は1週間を目安とさせていただきます。
 - (7) 出張修理の期間が2週間を超えた場合は、製品保証先へご連絡をさせていただきます。
 - (8) お見積り後、出張修理の期間が2週間を超えた場合は、製品保証先へご連絡をさせていただきます。
 - (9) お見積り後、出張修理の期間が2週間を超えた場合は、製品保証先へご連絡をさせていただきます。
 - (10) 出張修理の期間が2週間を超えた場合は、製品保証先へご連絡をさせていただきます。
2. メンテナンススペース・設置環境について
 - (1) メンテナンススペースが無い場合、安全作業ができないと判断した設置状況においては作業をお断りさせていただきます。
 - (2) 屋外設置の場合、天候により作業を中止または延期させていただきます。
3. ご注意
 - (1) 製品が改造されている場合、修理をお受け出来ない場合がございます。
 - (2) 製品をお客様にて分解された場合は修理をお受け出来ない場合がございます。
 - (3) 故障から長時間経過している製品や、部品が消耗した製品は修理が出来ない場合がございます。

購入先がご不明なお客様
QRコードから記載内容をご確認の上、
本紙を記入して下さい。



メモ

保 証 書

本製品の保証内容は、下記のとおりです。保証修理をお受けになる場合は、機種名と製造番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1. 保証期間

お買い上げ後 1 年間。ただし、首振り機能は 3 年間。

2. 保証範囲

- (1) 上記保証期間中に当社側の責任による故障が発生した場合は、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される国・地域によっては修理対応ができない場合や時間を要する場合がありますので、日本国外で修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店に別途ご相談ください。
- (2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。ただし、ご要望により当社サービス網がこの業務を代行することができます。この場合、故障原因が当社側にある場合は無償といたします。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合には有償修理（保証対象外）とさせていただきます。
 - ①仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障
 - ②当社製品以外（お客様の装置やソフトウェアの設計等）の原因による故障
 - ③当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障
 - ④当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障
 - ⑤取扱説明書等に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる故障
 - ⑥消耗部品（点検および定期交換部品）の交換
 - ⑦火災等の不可抗力による外部要因、および地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - ⑧当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - ⑨腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障
 - ⑩長期間未使用であったことに起因する部品の固着、材料の劣化等による故障
- (4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3. 保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4. 用途限定

- (1) 本製品を重要な設備に適用する際は、本製品が故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップやフェールセーフ機能を設備側に設けてください。
- (2) 本製品は、一般工業向けの汎用品として設計・製造されています。したがって、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。
 - ①原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途
 - ②電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途



オリオン機械株式会社



オリオン機械株式会社

<https://www.orionkikai.co.jp>

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

お客様相談センター

✉ sijo@orionkikai.co.jp



☎ 0120-958-076

受付時間 平日 9時～17時

FAX 03-6811-7793

本 社 ・ 工 場	〒382-8502	長野県須坂市大字幸高 246
須坂インター工場	〒382-8503	長野県須坂市大字井上 1300
更 埴 工 場	〒387-0007	長野県千曲市大字屋代 1291
千 歳 工 場	〒066-0077	北海道千歳市上長都 1051-16

北海道オリオン株式会社(札幌)	011-865-3666	オリオン機械株式会社(静岡)	053-464-4737
中央オリオン株式会社(盛岡)	019-641-4554	オリオン機械株式会社(刈谷)	0566-62-4377
中央オリオン株式会社(仙台)	022-284-0691	オリオン機械株式会社(名古屋)	0587-21-1717
中央オリオン株式会社(郡山)	024-963-1051	オリオン機械株式会社(金沢)	076-263-1881
オリオン機械株式会社(東京)	03-6811-7711	オリオン機械株式会社(大阪)	06-6305-1414
オリオン機械株式会社(横浜)	045-934-7011	オリオン機械株式会社(京都)	075-646-3939
オリオン機械株式会社(千葉)	043-221-7788	オリオン機械株式会社(神戸)	078-945-5508
オリオン機械株式会社(太田)	0276-46-7678	オリオン機械株式会社(岡山)	086-246-3501
オリオン機械株式会社(さいたま)	048-783-3975	オリオン機械株式会社(広島)	082-264-4535
オリオン機械株式会社(宇都宮)	028-688-0020	オリオン機械株式会社(高松)	087-835-1367
オリオン機械株式会社(つくば)	029-850-3633	西日本オリオン株式会社(福岡)	092-477-8480
オリオン機械株式会社(新潟)	025-257-7006	西日本オリオン株式会社(熊本)	0968-38-7311
オリオン機械株式会社(長野)	026-248-2428	西日本オリオン株式会社(鹿児島)	099-263-5275
オリオン機械株式会社(諏訪)	0266-58-7535		

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買いあげ日		製 造 番 号	
販 売 店 名		店 名	
		電話 () -	

ORION

JET HEATER
進化したジェットヒーター
SINCE 1965

取扱説明書

ジェットヒーター用オプション部品

タイマ



- この製品は「産業用」です。取り扱いには十分注意してください。
- この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保管しておいてください。

03108648010

はじめにお読みください

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
より安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みになり、正しくお使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全のため必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、 **危険**  **警告**  **注意**に区分して表示してあります。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されるもの

また、 **注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ・取扱説明書をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく所有者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

■図記号について

	 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
重要事項	 記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。

も く じ

⚠安全のため必ずお守りください	3
各部のなまえ	4
使用前の準備	5
使い方	8
点検のしかた	9
アフターサービス	9
仕様	9

安全のため必ずお守りください

使用上の注意（警告／注意）

警告

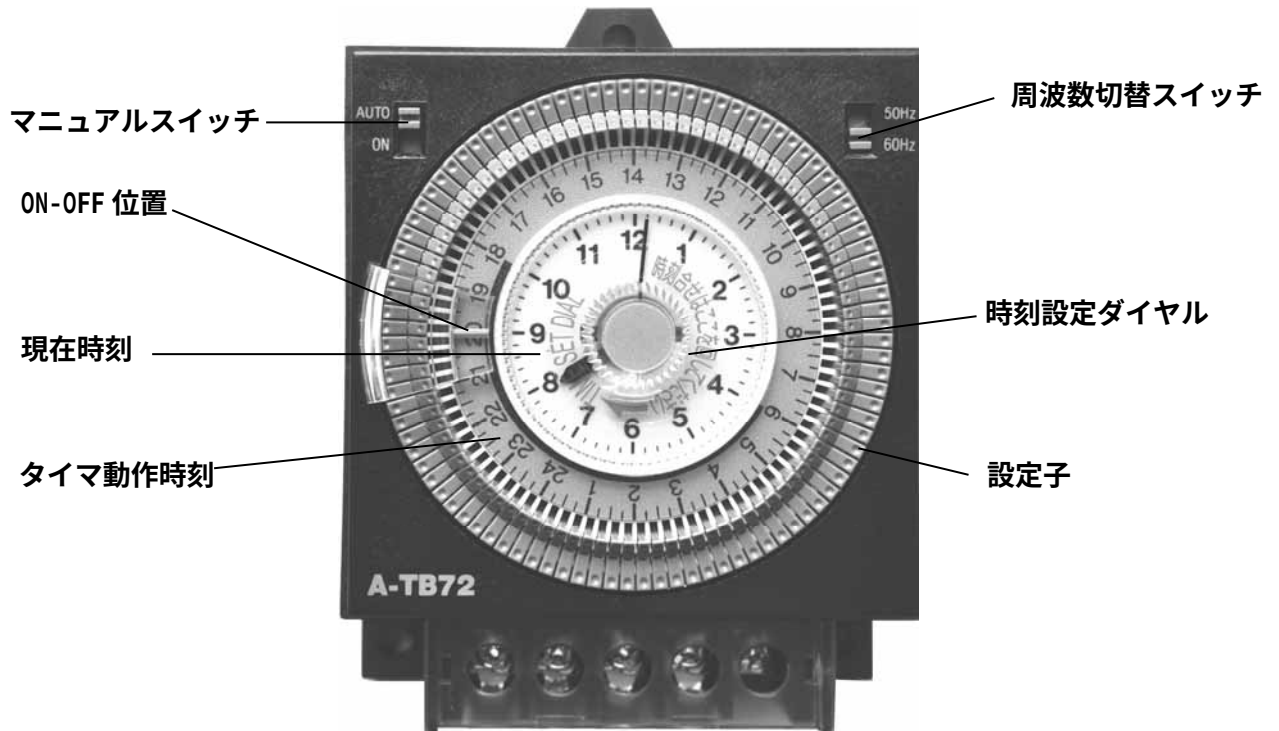
	タイマを接続する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。
	バーナーカバーやバーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟みこまないようにしてください。 感電の恐れがあります。（Bタイプ、Cタイプの接続コードの場合） タイマは防滴、防塵構造ではありません。水や塵埃のかからない場所へ設置してください。 漏電の恐れがあります。

注意

	タイマは丈夫な壁等に固定してください。 落下してけがをする恐れがあります。 タイマを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒーターを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因になります。 タイマが正しく作動する事を定期的に点検してください。 予期せぬ温度の低下・上昇の恐れがあります。 対象物の特性に合わせ、安全装置を設置してください。 タイマの誤作動やヒーターの故障等により、予期せぬ温度の上昇・低下の恐れがあります。対象物の特性に合わせて、安全装置を設置してください。 ヒーターの熱風又は赤外線が当たる場所に取り付けしないでください。 過熱してタイマの焼損や火災などの原因となります。
---	--

各部のなまえ

■各部のなまえ(保護カバーを取り外した状態)



使用前の準備

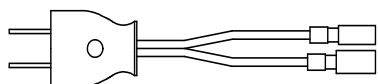
接続方法

接続方法

1. 接続コードを選ぶ

お使い頂いているヒーターの機種によって、タイマ本体とヒーターの間を接続するコードが異なります。同梱されている4種類の接続コードから選んでください。

① Aタイプの接続コード



適用機種

HPS80C, HPS80D, HPC80, HP160, HPE150A, HPS250C, HPS250D, HPE250, HPS310D-L, HPS310E-L, HPS310F-L, HPE310-L, HP350-L, HPS310D, HPS310E, HPD36-L, HPS360, HPE370, HPS830, HPS830A, HS270-L, HS290-L, HEA170D, HEA170E, HEA170D-B, HEA170E-B

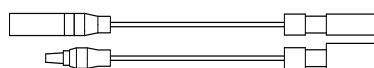
② Bタイプの接続コード



適用機種

HR120C, HR120D, HR220A, HR220A-L, HR330F, HR330G, HR330H, HRS330, HR330D-L, HR330E-L

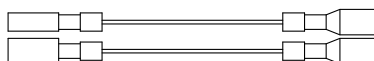
③ Cタイプの接続コード



適用機種

HPE80, HPE80A, JH80A

④ Dタイプの接続コード



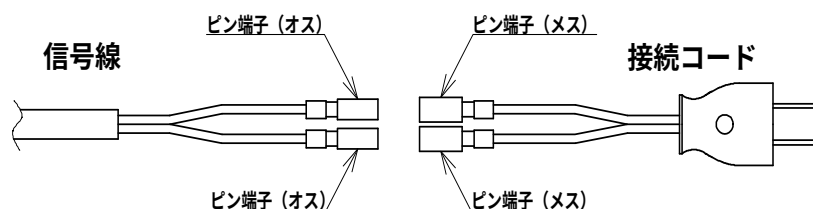
適用機種

上記以外の機種（必要に応じてご使用ください）

2. 接続コードとタイマ本体の接続

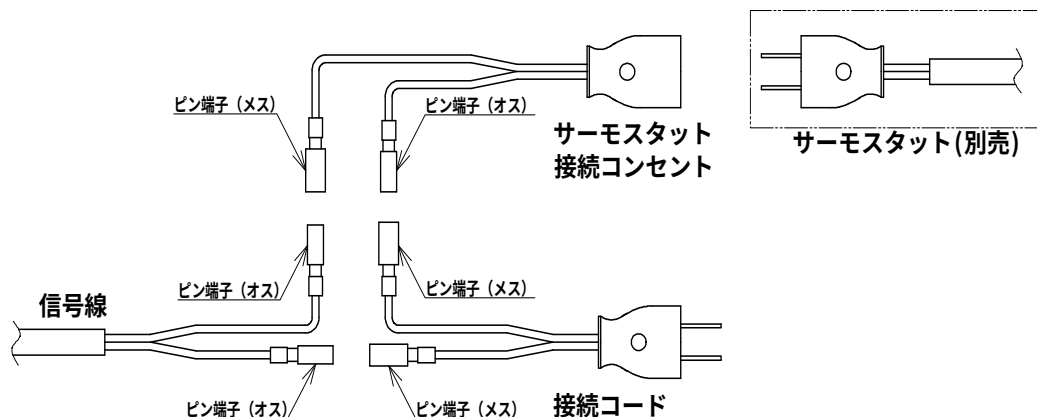
(1) タイマだけを使用する場合

選んだ接続コードのピン端子をタイマ本体のピン端子と接続してください。



(2) タイマとサーモスタットを同時に使用する場合

選んだ接続コードと同梱のサーモスタット接続コンセントをタイマ本体のピン端子に接続してください。



使用前の準備

接続方法

3. タイマとヒーターを接続してください。

(1) Aタイプの接続コードの場合（写真は HPE370 の場合）

- ① 短絡プラグを外す。
スイッチパネルのサーモ接続口に付いている短絡プラグを取りはずす。



- ② タイマのプラグを接続口に差し込む。
タイマに取り付けた接続コードのプラグをサーモ接続口へ差し込む。



(2) Bタイプの接続コードの場合（写真は HR330E-L の場合）

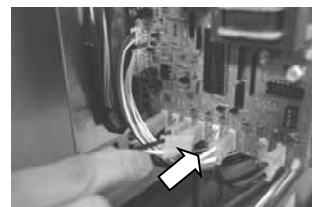
- ① バーナーカバーをはずす。
(HR330H, HRS330 の場合はバーナー点検蓋)



- ② 短絡コードをはずす。
バーナーコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されている短絡コードを取りはずす。
(HR330H, HRS330 の場合は「タイマ」端子台)



- ③ タイマに取り付けた接続コードのコネクタを「サーモスタット」端子台へ差し込む。
(HR330H, HRS330 の場合は「タイマ」端子台)



- ④ バーナーボックスカバーを取り付ける。
(HR330H, HRS330 の場合はバーナー点検蓋)

使用前の準備

接続方法／タイマ本体の設置

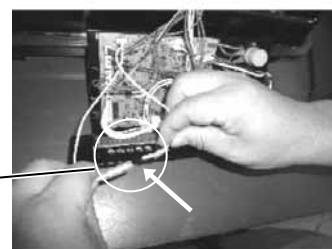
(3) Cタイプの接続コードの場合

- ①コントロールボックスを開ける。



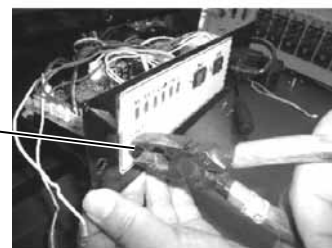
- ②バーナコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されているサーモ端子の接続部を外す。

サーモ端子の
接続部を外す



- ③コードブッシュをコントロールボックスからペンチ等で外す。

コードブッシュ



- ④サーモ端子をコードブッシュではさみ込み、コードブッシュを元の位置に取り付ける。

- ⑤タイマに取り付けた接続コードをサーモ端子へ差し込む。



タイマ本体の設置

- 1.外形寸法図（10 ページ参照）を確認し、壁等に固定する。

- (1) 表面取り付け

M4 ネジまたは木ねじ 3.8×16（3 本）をご使用ください。

- (2) DIN レール取り付け

35mmDIN レールをご使用ください。

使い方

運転方法

運転方法

1. 電源周波数を設定してください。
正面右上の周波数切替スイッチをマイナスドライバー等先細なもので切り替えてください。
2. 現在時刻を合わせてください。
必ず時刻設定ダイヤルを矢印方向（右）に回してください。
3. 動作時刻を設定してください。
ON 設定：タイマの設定子を内側に倒す。ダイヤル外周部に赤色が現れます。
OFF 設定：タイマの設定子を外側に倒す。ダイヤル外周部の赤色が隠れます。
●設定子はクリックアクション「カチッ」音があるまで十分倒してください。
●ツメ 1 本で 15 分間運転します。
4. マニュアルスイッチを設定してください。
タイマによる運転と停止を行うには、「AUTO」にセットしてください。
「ON」にセットした場合、設定子の動作時刻のセットに関係なく ON 状態になります。

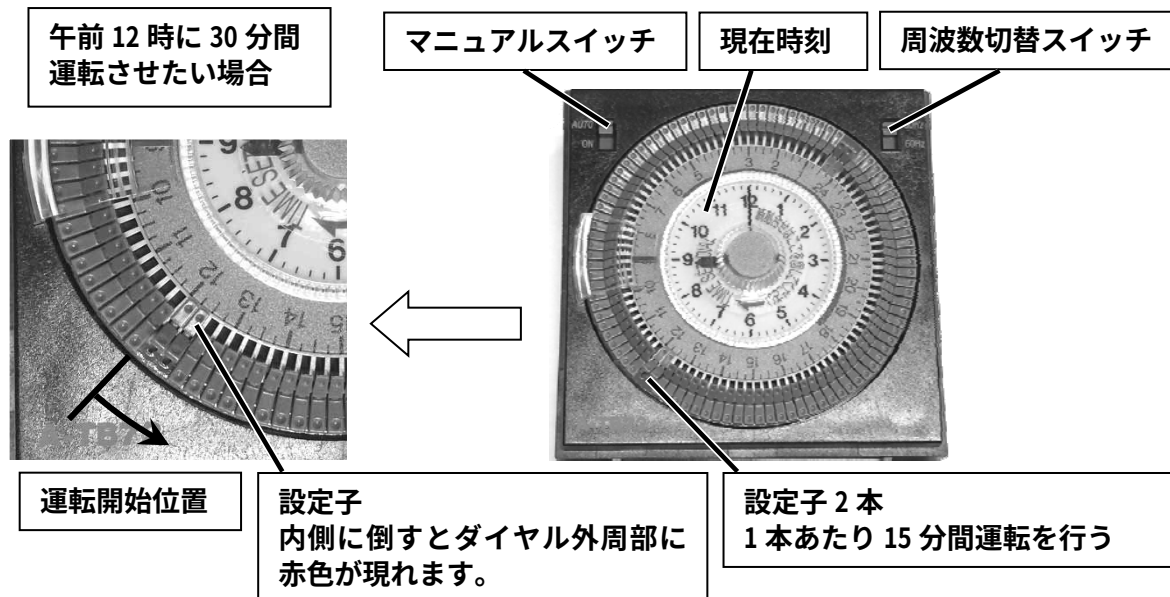
■設定例

周波数：50Hz

時計：AM9：00 を示しています。

運転開始時刻：12 時、24 時に設定されています。

運転時間：30 分間運転します。



⚠ 注意

- タイマを取付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒーターを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

重要事項

- 炎監視装置が装備されていない旧型ヒーターは本タイマを使用できません。

点検のしかた

1 ヶ月に1回以上

1 ヶ月に1回以上

1. 動作の確認

1 ヶ月に1回以上、タイマ動作に合わせてヒーターが点火・消火する事を確認してください。

アフターサービス

■ アフターサービスの依頼

- 点検、修理をお申しつけのときは、次の事項を、お買い上げの販売店にお知らせください。
①製品名（接続のヒーター） ②現象（できるだけ詳しく） ③住所、電話番号

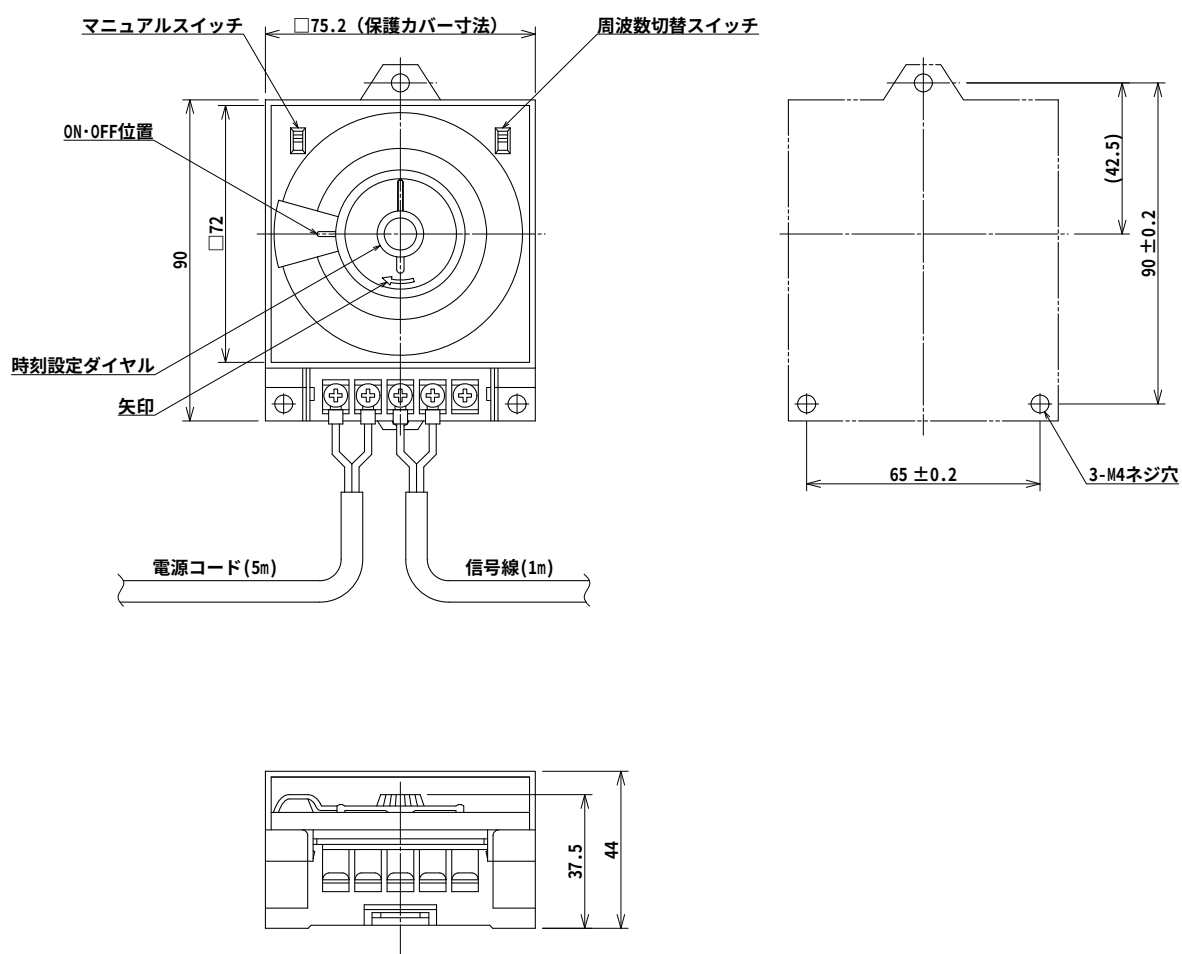
仕様

■仕様表

品名	タイマ
品番	03037841010
操作電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
最小設定間隔	15 分
出力切替	手動 ON / AUTO（タイマ動作）
消費電力	1.5W 以下
使用周囲温度	-10～+50℃
使用周囲湿度	45～85%RH（at25℃、結露なきこと）
電源線長さ	5m
信号線長さ	1m
付属品	・ ヒーター接続コード A タイプ（ジェットヒーター用） B タイプ（ブライトヒーター用） C タイプ（HPE80 系用） D タイプ（その他用） ・ サーモスタット接続コンセント ・ 取扱説明書（本書）

仕様

■外形寸法図



保証書

本製品の保証内容は、下記のとおりです。保証修理をお受けになる場合は、機種名と製造番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1. 保証期間

お買い上げ後 1 年間

2. 保証範囲

- (1) 上記保証期間中に当社側の責任による故障が発生した場合は、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される国・地域によっては修理対応ができない場合や時間を要する場合がありますので、日本国外で修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店に別途ご相談ください。
- (2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。ただし、ご要望により当社サービス網がこの業務を代行することができます。この場合、故障原因が当社側にある場合は無償といたします。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理（保証対象外）とさせていただきます。
 - ① 仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等により発生する故障
 - ② 当社製品以外（お客様の装置やソフトウェアの設計等）の原因による故障
 - ③ 当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障
 - ④ 当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障
 - ⑤ 取扱説明書等に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる故障
 - ⑥ 消耗部品（点検および定期交換部品）の交換
 - ⑦ 火災等の不可抗力による外部要因、および地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - ⑧ 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - ⑨ 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3. 保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4. 用途限定

- (1) 本製品を重要な設備に適用する際は、本製品が故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップやフェールセーフ機能を設備側に設けてください。
- (2) 本製品は、一般工業向けの汎用品として設計・製造されています。したがって、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。
 - ① 原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途
 - ② 電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途



オリオン機械株式会社

Product Warranty

This product shall be warranted as follows. For warranty repairs, please contact the dealer where the product was sold after confirming the product model and serial number.

1. Warranty Period

- (1) One year from the date of purchase.

2. What Is Covered by this Warranty

- (1) If breakdown occurs within the above warranty period and the cause of the breakdown lies with ORION, then the damaged part(s) will be replaced or repaired by ORION free of charge. Note that depending on the country/region where the product is being used, repairs may take more time or be impossible. Please consult with your dealer in advance regarding service and repair options for products to be operated outside of Japan.
- (2) In principal, the owner of the product will confirm diagnosis of the breakdown according to the operating manual. However, there might be cases where this work may be carried out instead by a member of ORION's service network. In such cases, there will be no charge where the cause of the breakdown lies with ORION.
- (3) Note that even during the warranty period, there will be costs incurred by the user (outside the warranty) in the following cases:
 - ① Breakdown resulting from operating under unsuitable operating conditions, environment, handling, use, or method of operation outside those written in the specifications or operating manual of the product, or as a result of carelessness or negligence on the part of the user.
 - ② Breakdown resulting from non-ORION products (user's own equipment or software design, etc.).
 - ③ Breakdown resulting from repairs or modifications conducted by non-ORION designated contractors.
 - ④ Breakdown which could be recognized as being avoidable in cases where an ORION product is used in conjunction with the user's equipment where the user's equipment is legally regulated to have a safety device whereby inclusion of the safety device could have averted breakdown, or in cases where the addition of function, structure, etc., could have, according to common knowledge of the industry, averted breakdown.
 - ⑤ Any breakdown which is recognized as being avoidable had normal fixed term inspections, and/or normal maintenance and replacement of consumables, been performed as indicated in the operating manual, etc.
 - ⑥ Replacement of consumables (parts to be replaced at fixed terms or based on inspection).
 - ⑦ Breakdown due to external factors beyond human control such as fire etc., or breakdown resulting from natural disaster such as earthquake, lightning, storm and flood damage, etc.
 - ⑧ Breakdown due to reasons unforeseeable due to the technological standard at the time the product was shipped from ORION.
 - ⑨ Any breakdown resulting from corrosion caused by operating the product in an atmosphere that contains corrosive gases, organic solvents, chemical solutions, etc., or in an environment where such substances could come into contact with the product.
- (4) In cases where a separate contract, etc. has been established, that contract will take priority.

3. Warranty Obligation Exclusions

Regardless of the warranty period, compensation for any of the following will not fall under the obligations of this warranty: any hindrance or accident compensation resulting from reasons not under ORION's obligations; any lost opportunities, lost profit, secondary losses, damages to non-ORION products incurred by users resulting from the breakdown of ORION products; and any replacement work, readjustment of on-site machinery and equipment, and operating work by users.

4. Product Use Limitations

- (1) When using ORION products in connection with important facilities, be sure to establish backup and/or failsafe measures so that even in the event of breakdown of such products, such breakdown will not lead to serious accidents or losses.
- (2) ORION products are designed and produced as general purpose equipment to be used in general industrial applications. Therefore, this warranty will not apply when used in the following applications: However, in cases where the customer/user takes full responsibility and confirms the performance of the product in advance, and takes necessary safety precautions, please consult with ORION and we will consider if use of the product in the desired application is appropriate.
 - ① Atomic energy, aviation, aerospace, railway works, shipping, vehicles (cars and trucks), medical applications, transportation applications, and/or any applications where it might have a great effect on human life or property.
 - ② Electricity, gas, or water supply systems, etc. where high levels of reliability and safety are demanded.



ORION MACHINERY CO., LTD.



オリオン機械株式会社

<http://www.orionkikai.co.jp>

サービスに関するお問い合わせは

CSセンター TEL 026-245-1263 FAX 026-245-5358
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail: sijo@orionkikai.co.jp

●北海道地区統括	北海道オリオン株式会社	TEL 011-865-3666
●東北地区統括	東北オリオン株式会社	TEL 022-284-0691
●北関東地区統括	東日本オリオン株式会社	TEL 0276-46-7678
●南関東地区統括	東日本オリオン株式会社	TEL 045-934-7011
●甲信越地区統括	東日本オリオン株式会社	TEL 026-248-2428
●東海・北陸地区統括	中部オリオン株式会社	TEL 0587-21-1717
●近畿・中四国地区統括	関西オリオン株式会社	TEL 06-6305-1414
●九州地区統括	西日本オリオン株式会社	TEL 092-477-8480

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
更埴工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291
千歳工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買いあげ日		製造番号	
販売店名		店名	
		電話() -	

K No.2329 20161114 C T.G. J.F.